



ONTAP Tools for VMware vSphere 9.xx を10.4に移行

ONTAP tools for VMware vSphere 10

NetApp
August 25, 2025

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-tools-vmware-vsphere-10/migrate/migrate-to-latest-ontaptools.html> on August 25, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ONTAP Tools for VMware vSphere 9.xxを10.4に移行	1
ONTAP Tools for VMware vSphere 9.xxから10.4への移行	1
VASA プロバイダーを移行し、SRA を更新する	1
VASAプロバイダーの移行手順	1
ストレージレプリケーションアダプタ(SRA)を更新する手順	4

ONTAP Tools for VMware vSphere 9.xxを10.4に移行

ONTAP Tools for VMware vSphere 9.xxから10.4への移行

VMware vSphere セットアップ用の NetApp ONTAP ツールをバージョン 9.xx から 10.x に移行する場合、バージョン間での製品の大幅な更新と機能強化のため、移行プロセスが必要になります。

ONTAP tools for VMware vSphere 9.12D1、9.13D2、9.13P2リリースからONTAP tools for VMware vSphere 10.4に移行することができます。

セットアップにNFSおよびVMFSデータストアがあり、vVolsデータストアが含まれていない場合は、ONTAP Tools 9.xxをアンインストールし、ONTAP Tools 10.xを導入するだけです。ただし、セットアップにvVolsデータストアが含まれている場合は、VASA ProviderとSRAの移行プロセスを実行する必要があります。

次の表は、これら 2 つの異なるシナリオにおける移行プロセスの概要を示しています。

セットアップにvVolsデータストアがある場合	セットアップにNFSとVMFSデータストアのみが含まれている場合
手順：1." VASAプロバイダーの移行 " 2. " VMストレージポリシーを作成する "	手順：1.環境からONTAPツール9.xxを削除します。 " OTV 9.xx を環境から削除する方法 " NetApp ナレッジベースの記事。2." VMware vSphere 10.4 用の ONTAP ツールを導入および構成する " 3." SRAの更新 " 4. " VMストレージポリシーを作成する "



ONTAP tools for VMware vSphere 9.xxから10.4に移行すると、NVMe/FCプロトコルを使用するvVolデータストアが動作しなくなります。これは、ONTAP tools 10.4がNVMe-oFプロトコルをサポートするのはVMFSデータストアのみであるためです。

VASA プロバイダーを移行し、SRA を更新する

VASAプロバイダーの移行手順

1. 既存のONTAP tools for VMware vSphereでDerbyポート1527を有効にするには、rootユーザを有効にし、SSHを使用してCLIにログインします。次に、次のコマンドを実行します。

```
iptables -I INPUT 1 -p tcp --dport 1527 -j ACCEPT
```

2. ONTAP tools for VMware vSphere 10.4向けOVAを導入します。
3. 移行するvCenter ServerインスタンスをONTAP tools for VMware vSphere 10.4リリースに追加します。詳細については、[を参照してください](#) "[vCenter Serverインスタンスを追加する](#)"。
4. ONTAP ツール プラグインの vCenter Server API からストレージ バックエンドをローカルにオンボードします。

5. SwaggerまたはPostmanから次のAPIを実行して移行します。

カール -X POST

`https://xx.xx.xx.xx:8443/virtualization/api/v1/vcenters/{vcguid}/migration-jobs``

次の URL から Swagger にアクセスできます。 `https://$FQDN_IP_PORT/'`, for example:
``\https://10.67.25.33:8443。`

◦ HTTPメソッドとエンドポイント*

このREST API呼び出しでは、次のメソッドとエンドポイントを使用します。

* HTTP メソッド *	* パス *
投稿 (Post)	/api/v1

処理タイプ

非同期

カールの例

カール -X POST '`https://<OTV-NG-IP>:8443/virtualization/api/v1/vcenters/<vcguid>/migration-jobs``' \
--header 'x-auth: <認証トークン>' \
--header 'Content-Type: application/json' \
--data '{ "otv_ip":
"xx.xx.xx.xx", "vasa_provider_credentials": { "username": "xxxxx", "password": "" },
"database_password": "" }'

他のリリース移行のリクエスト本文：

{ "otv_ip": "xx.xx.xx.xx", "vasa_provider_credentials": { "ユーザー名": "xxxxx", "パスワード": "" } }

◦ JSON出力例*

ジョブオブジェクトが返されます。次の手順で使用するには、ジョブIDを保存する必要があります。

{ "id" : 123、 "migration_id" : "d50073ce-35b4-4c51-9d2e-4ce66f802c35"、 "status" : "running" }

6. Swaggerで次のURIを使用してステータスを確認します。

```
curl  
`https://xx.xx.xx.xxx:8443/virtualization/api/jobmanager/v2/jobs/<JobID  
>?includeSubJobsAndTasks=true`
```

ジョブが完了したら、移行レポートを確認します。このレポートはジョブデータに含まれており、ジョブ
応答からアクセスできます。

7. VMware vSphereストレージプロバイダ用のONTAPツールをvCenter Serverに追加し、 **"VASA Providerを登録する"** VMware vSphere 用の ONTAP ツールを使用します。

8. "VASA Provider の有効化"Service on ONTAP tools for VMware vSphere 10.4を参照してください。
9. ONTAP Tools for VMware vSphereストレージプロバイダ9.10 / 9.11 / 9.12 / 9.13 VASA Providerサービスをメンテナンスコンソールから停止します。

VASA Providerは削除しないでください。

古いVASAプロバイダが停止すると、vCenter ServerはONTAP tools for VMware vSphereにフェイルオーバーします。すべてのデータストアと仮想マシンはONTAP tools for VMware vSphereからアクセス可能になり、サービスが提供されます。

10. ONTAP tools for VMware vSphere 9.xxxから移行されたNFSデータストアとVMFSデータストアがONTAP tools for VMware vSphere 10.4に表示されるのは、データストアの検出ジョブがトリガーされてからで、完了までに最大30分かかることがあります。VMware vSphere プラグインのユーザー インターフェイスページの ONTAP ツールの概要ページにデータストアが表示されていることを確認します。
11. SwaggerまたはPostmanで次のAPIを使用してパッチの移行を実行します。

◦ HTTPメソッドとエンドポイント*

このREST API呼び出しでは、次のメソッドとエンドポイントを使用します。

* HTTP メソッド *	* パス *
パッチ	/api/v1

処理タイプ

非同期

カールの例

curl -X パッチ

```
https://xx.xx.xx.xx:8443/virtualization/api/v1/vcenters/56d373bd-4163-44f9-a872-9adabb008ca9/migration-jobs/84dr73bd-9173-65r7-w345-8ufdbb887d43
```

◦ JSON出力例*

ジョブオブジェクトが返されます。次の手順で使用するには、ジョブIDを保存する必要があります。

```
{ "id" : 123, "migration_id" : "d50073ce-35b4-4c51-9d2e-4ce66f802c35", "status" : "running" }
```

PATCH処理の要求の本文が空です。



UUIDは、移行後のAPIに対する応答で返される移行UUIDです。

パッチ移行APIを実行すると、すべてのVMがストレージポリシーに準拠します。

次の手順

移行を完了してONTAP tools 10.4をvCenter Serverに登録したら、次の手順を実行します。

- 検出*が完了するまで待ちます。証明書はすべてのホストで自動的に更新されます。
- データストアおよび仮想マシンの操作を開始する前に、十分な時間を確保してください。必要な待機時間は、構成内のホスト、データストア、および仮想マシンの数によって異なります。待機しない場合、断続的な操作障害が発生する可能性があります。

アップグレード後に仮想マシンのコンプライアンス状態が古い場合は、次の手順に従ってストレージポリシーを再適用します。

1. データストアに移動し、[概要]>[VMストレージポリシー]*を選択します。

で、準拠ステータスが out-of-date *と表示されます。

2. Storage VMポリシーと対応するVMを選択してください
3. [適用]を選択します。

[VM storage policy compliance]*で、準拠ステータスが[準拠]と表示されるようになりました。

関連情報

- ["ONTAP Tools for VMware vSphere 10 RBACの詳細"](#)
- ["ONTAP Tools for VMware vSphere 10.xから10.4へのアップグレード"](#)

ストレージレプリケーションアダプタ(SRA)を更新する手順

作業を開始する前に

リカバリプランにおいて、保護サイトとは仮想マシンが現在実行されている場所を指し、リカバリサイトとは仮想マシンがリカバリされる場所を指します。SRMインターフェースには、リカバリプランの状態と、保護サイトとリカバリサイトの詳細が表示されます。リカバリプランでは、「**CleanupP**」ボタンと「**Reprotect**」ボタンは無効になっていますが、「**TEST**」ボタンと「**RUN**」ボタンは有効なままです。これは、サイトがデータリカバリの準備ができていることを示します。SRAを移行する前に、一方のサイトが保護状態、もう一方のサイトがリカバリ状態であることを確認してください。



フェイルオーバーが完了しても再保護が保留中の場合は、移行を開始しないでください。移行を続行する前に、再保護プロセスが完了していることを確認してください。テストフェイルオーバーを実行中の場合は、テストフェイルオーバーをクリーンアップして移行を開始します。

1. VMware Site RecoveryでONTAP tools SRAアダプタfor VMware vSphere 9.xxを削除するには、次の手順を実行します。
 - a. VMware Live Site Recovery構成管理ページに移動します。
 - b. Storage Replication Adapter *セクションに移動します。
 - c. 省略記号メニューから* Reset configuration *を選択します。
 - d. 省略記号メニューから*削除*を選択します。
2. これらの手順は、保護サイトとリカバリサイトの両方で実行します。
 - a. ["ONTAP Tools for VMware vSphereサービスを有効にする"](#)
 - b. の手順に従って、ONTAP Tools for VMware vSphere 10.4 SRAアダプタをインストールします["VMware Live Site RecoveryアプライアンスでのSRAの設定"](#)。

- c. VMware Live Site Recoveryのユーザーインターフェイスページで、*アレイの検出*および*デバイスの検出*操作を実行し、移行前と同じようにデバイスが表示されることを確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。